黒岩探訪　検索
黒岩探訪バックナンバーが小学校のウエブページに載っています。「黒岩探訪」で検索してください。

黒岩探訪 45

たんぼう

KUROIWA くろいわ

寒中の候

「寒中の候、・・・」という時候の挨拶があります。寒中とは、二十四節気の内小寒（今年は1月6日）から大寒をはさんで立春（今年は2月4日）までの約30日のことをいいます。一年の内で一番寒さが厳しい時です。

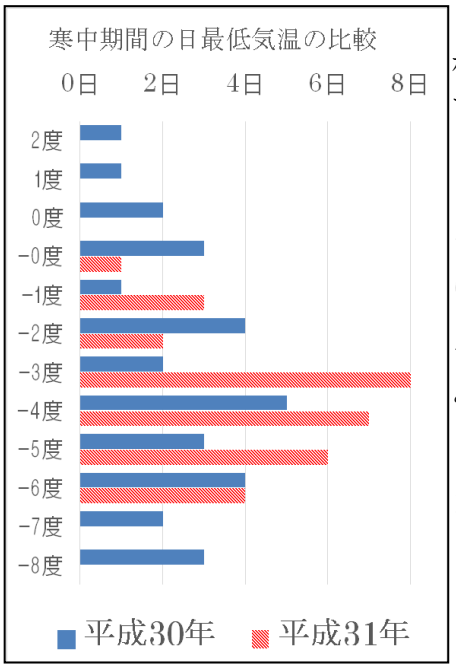
さて、この寒中の間、昨年と今年ではどちらが寒かったでしょうか？学校に設置してある百葉箱の自記温度記録計の一日毎の最低気温を比較してみると表のようになりました。

日最低気温の平均を比べると今年はマイナス4.1度となり昨年より低くなっています。この結果は意外でした。というのも、昨年は寒すぎて学校のポンプ室の水槽や屋上からの配水管が凍ってしまい、上水を確保するのにいろいろと手をつくした記憶があるからです。

ただ、この記録をもって今年のほうが寒いと断言はできなそうです。学校でも五年生の国語で「グラフや表を用いて、理由づけを明確にして説明する」学習をしたり、六年生の算数で「資料の特徴を調べよう」でちらばりの様子から、平均値ではわからなかったことを学習したりします。そこで、1度差毎のちらばりの様子をグラフにしてみました。

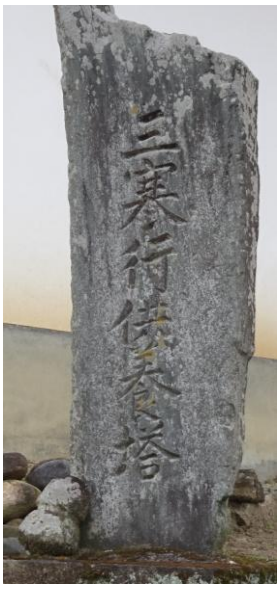
日最低気温の記録

	H30年	H31年	備考
1月5日	-5.0	-4.9	h30小寒
6日	-6.3	-0.9	h31小寒
7日	-2.4	-3.1	
8日	-4.4	-5.7	
9日	2.0	-3.0	
10日	-0.6	-6.9	
11日	-4.8	-4.0	
12日	-5.9	-4.3	
13日	-8.6	-3.2	
14日	-5.0	-4.8	
15日	-7.4	-5.4	
16日	-4.2	-3.0	
17日	-0.6	-6.3	
18日	1.1	-2.0	
19日	0.4	-4.0	
20日	-0.4	-5.0	大寒
21日	-2.1	-2.4	
22日	-1.5	-5.8	
23日	-8.0	-6.4	
24日	-4.7	-3.9	
25日	-4.7	-5.2	
26日	-2.7	-1.9	
27日	-7.3	-3.8	
28日	-6.0	-5.0	
29日	-6.6	-1.0	
30日	-6.4	-5.6	
31日	-8.5	-4.5	
2月1日	-3.2	-1.9	
2日	0.1	-6.3	
3日	-2.0	-3.1	節分
4日	-3.3	-3.5	立春
平均	-3.8	-4.1	



この様子から、マイナス7～8度の日が今年は一度もないことが分かります。黒岩探訪21号で載せた「たなびく煙」の風景も今年の方が見る機会が少なく感じます。また、昨年度は12月中にマイナス7度を記録していましたので、体感的にはやはり昨年の方が寒く感じた方が多かったのではないでしょうか。

さて、1月19日の公民館事業「ふるさと黒岩歴史学び隊」で案内したなかで共和地区に「寒念仏塔（寒行供養塔）」がありました。（写真）



念仏信仰は「南無阿弥陀仏」と唱えることで死後の極楽行きが保障されると信じられていましたので、庶民にこの信仰は広がりました。寒念仏は、寒中の30日間酷寒の山野で行う厳しい修行のことをいいました。厳しい修行でしたので、庶民というよりももともとは僧侶たちの専従念仏でした。黒岩地区には寒念仏塔は他に大日尊（阿弥陀如来立像）や黒岩神社（石灯籠）に見られます。

寒中を過ぎて春を迎え、これから少しずつ暖かさが増していきます。